

9 ▶ その他の取り組み

JSTでは、地域事業を推進する中、事業参加者や産学連携の機関や関係者における成功事例や意識の共有、課題解決や取り組みの向上、成果の展開やマッチングなどを目指し、さまざまな機会を提供してきた。

事業が発足した平成8年度当初はRSPを中心に、参画する新技術コーディネータの事業に対する意識や成功事例の共有化、業務スキルの向上を目指し、新技術コーディネータ会議を開催した。また、平成10年度からはRSPの運営やコーディネータ活動の活性化を目指す地域フォーラムを開催した。

当初は事業参加者向けの会議を中心にイベントを実施していたが、産学連携関係機関を対象に広げる形でイベントを開催するようになった。RSPの研究成果については、各地域で新技術説明会を開催し、マッチング等を図ってきた。平成12年度から、JST地域事業で実施中の課題について、分野別に照会する「地域から発信する科学技術」シンポジウムを開催し、平成16年度まで10回実施した。平成19年度にはシーズ発掘試験の成果に関する「地域発技術シーズ発表会」を開始し、平成21年度まで実施した。

地域結集型共同研究事業（以下、地域結集）の開始に伴い、平成11年度の事務担当者会議を皮切りに、事業総括連絡会議や新技術エージェント会議等、関係者間の会議を開催してきた。平成14年度からは地域結集実施地域の合同報告会を開始し、平成17年度からは合同報告会に加え、地域結集の成果の技術移転を目指す「地域結集型発研究成果移転フェア」を併せて開催した。平成20年度からはこれらの取り組みを「地域結集型総合会議」に統合し開催している。

平成18年度からは全国レベルでの幅広い機関のコーディネータ間の課題・解決策の共有と参加者のスキルアップを目指し、「イノベーションコーディネータフォーラム」を開催している。また、平成21年度からは優れた取り組みや実績を示したコーディネータを表彰する「イノベーションコーディネータ表彰」を開始した。

その他、地域が力を入れて取り組んでいる最先端の科学技術および研究成果の社会還元についての状況をわかりやすく説明する「地域イノベーションフォーラム」を平成18～19年度に計4地域で開催した。また、地域間で共通の研究課題について討議を行い、地域間連携による研究活動を促進する「地域間連携シンポジウム」を平成19年度より、地域大学の産学官連携の取り組み等について発表し議論する「地域大学サミット」を平成20年度より開催している。

また、全国各地で活躍するコーディネータおよびその活動を周知し、産学官連携活動のより一層の促進を図るためのさまざまな情報提供を行っている。

その一環として、全国各地の産学官連携従事者（平成22年12月現在、1,922名登録）、機関（平成22年12月現在、1,619名登録）や、助成制度等の産学官連携に関する事業・制度に関する情報を、インターネットを通じ提供する「産学官連携データベース」を平成17年1月に提供開始した。また、産学官連携分野に携わる多くの方々の議論の「場」を提供し、それを対外的に「発信」することにより、産学官連携活動のさらなる促進と発展を図る『産学官連携ジャーナル』を平成17年1月に創刊し、月1回発行している。これらさまざまな情報をまとめたポータルサイト「産学官の道しるべ」を平成17年1月にサービスを開始した。

また、地域の自治体や機関との産学官連携をより一層推進するため、平成15年10月に愛知県との「大学等の研究成果の活用による新規事業創出に当たる相互協力に関する協定」締結を皮切りに、地域の自治体、大学、高等専門学校等と協定を締結している。

また、地域の自治体や機関との産学官連携をより一層推進するため、平成15年10月に愛知県との「大学等の研究成果の活用による新規事業創出に当たる相互協力に関する協定」締結を皮切りに、地域の自治体、大学、高等専門学校等と協定を締結している。